



2022年度 JAいるま野

## コンテスト

## 審査結果

管内の風景を後世に伝えようと、昨年10月から今年6月にかけて募集した「JAいるま野写真コンテスト」。今回は、37人の方から計90点のご応募をいただきました。審査結果は、以下の通りです。なお、入賞作品8点は、「2023年版JAいるま野カレンダー」に掲載する予定です。



## 最優秀賞 「二人の作業」

厚目 正さん

養蚕は未永く残って欲しい伝統的農業の一つです。桑の葉を集める養蚕農家のご夫婦のお互い手を差し伸べ合うことで揃ったポーズが、普段からの息の合った仕事ぶりを思わせます。荷車いっぱいの葉から、忙しい時期であることが伝わります。



## 優秀賞 「ホタル舞う里」

大谷木春男さん

シャッターを長く開くことで捉えた、農業用水を舞うホタルの光跡が美しいですね。右奥の水田の様子から、田植えから間もないことが分かります。こうした生き物を田畠が育んでいるということを、あらためて感じる一枚です。



## 優秀賞 「新茶」

諸井 敏江さん

日差しを浴びて輝く、新茶の葉の鮮やかな緑が美しい一枚です。空に向けて伸びる葉から、強い生命力を感じます。農家が操る収穫機の赤色が、差し色として映えます。春の茶どころの魅力ある光景です。



◆「小春日」

鯉沼 秀夫さん

◆「刈り取り」

成田伸次郎さん

◆「朝露」

原嶋 浩さん

◆「梅の色彩の競演」

須長甲子男さん

◆「昔ながらの田植え」

鈴木 行男さん